

令和3年11月15日

# 住井すゑ文学館と地元との協働、 文化遺産を活用した観光について

牛久市教育委員会



# 牛久市住井すゑ文学館 11月3日（文化の日）開館

牛久市住井すゑ文学館  
いよいよ待望のオープン

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館を再延期の可能性があります。あらかじめご了承ください。  
文化芸術課 牛久シティ 内 0874-3121

令和3年  
**11/3** 水祝  
午後1時より

※当日午前は開館式典のため、一般の方はご入館いただけません。ご了承ください。

郷士の偉人の功績を後世に継承し、周辺の文化遺産を活用した新たな観光拠点に

住井すゑ（1902～1997）は、奈良出身の作家です。昭和10（1935）年に、農民文学者の夫・大田卯の郷里である牛久村城中現・牛久市城中町に家族で移住。以来この地で執筆活動を行い、自由と平等を訴える作品を数多く発表しました。なかでも長編小説『橋のない川』は大ベストセラーとなり、映画化もされました。

平成30（2018）年、住井すゑの書斎、抱撲舎等の建物と土地が、ご遺族より牛久市へ寄贈されました。改修工事を経て、令和3（2021）年に牛久市住井すゑ文学館として開館します。住井すゑおよびゆかりの人々の文学への関心と理解を深めていただくために、所蔵する資料の保存・展示を行います。周辺の文化遺産や自然とともに、ぜひお楽しみください。



▲住井すゑ直筆の原稿や愛用の万年筆



住井すゑ（1950年代）



住井すゑの書斎があった建物を改修し、原稿や蔵書、愛用品などを公開します。大田卯、増田れい子らの蔵書や家族写真も展示。関連図書も閲覧することもできます。



抱撲舎外観



抱撲舎 かつて学習会の教室として使用された抱撲舎は、周辺の文化遺産や観光案内を行う多目的ギャラリーとして無料で公開します。



牛久市住井すゑ文学館（〒700-1223 牛久市城中町77番） ☎869-8350 FAX869-8360

利用案内	
開館時間	午前9時～午後4時30分 （最終入館は午後4時まで）
休館日	月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始（12月28日～1月4日）
入場料	◆一般：100円 ◆団体（10人以上）：50円 ※高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1人は無料。 ※展示棟見学のみ有料。 ※11月3日（水）祝～30日（火）は無料。



広報うしく11/1号より

2021 11/1 No.1300  
うしく、うしく、うしく。

11月の20日  
住井すゑ文学館開館記念行事  
住井すゑ文学館開館記念行事  
住井すゑ文学館開館記念行事



# 11月3日 開館式典の様子





# 牛久第三中学校和太鼓部による城中太鼓演奏





# 住井すゑ文学館概要

- ご遺族より市に寄贈された作家住井すゑの土地・建物を、牛久市住井すゑ文学館として整備。

## 目的

- 郷土の偉人の功績を後世に継承し、市民文化の向上と郷土愛の醸成に資する。
- 周辺の「牛久市小川芋銭記念館雲魚亭」や「河童の碑」、「牛久城跡」などの文化遺産と連携し、文化財を活用した新たな観光拠点とすることを旨とする。

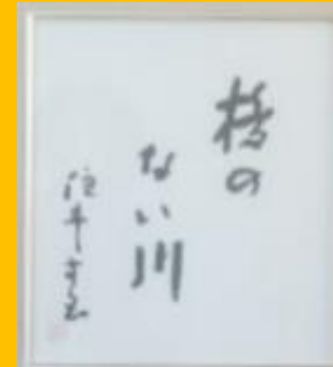


# 施設概要

展示棟 入館料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般：100円</li> <li>・団体（10名以上）：50円</li> <li>・高校生以下、障がい者手帳等の交付を受けた者及びその付添人1名、授業で引率する教職員：無料</li> </ul>
休館日	月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、 年末年始（1/1-4、12/28-31）
開館時間	9：00～16：30（最終入館は16：00まで）

駐車場10台  
（うち1台は  
身障者用）

## 展示棟（有料）



住井すゑの原稿、遺品やゆかりの人物の資料など文学資料の展示。



牛久沼  
ビュースポット



## 抱樸舎

展示の他、周辺の文化遺産や観光案内を行なう多目的ギャラリー。トイレ設置。





# 文化遺産を活用した観光

- 文学館周辺の文化遺産、自然を散策する拠点でもある。
- 展示施設としてだけでなく、周辺散策やウォーキングの休憩所としての役割も視野に入れている



牛久市観光アヤメ園

三日月橋

城中町

得月院

河童の碑

かつぱの碑入口バス停

雲魚亭

住井すゑ文学館

牛久城跡

文学館周辺の観光や散策は、徒歩での移動や、かっぱ号の利用を推奨



# 地元との協働

- 管理はシルバー人材センター（地元及び近隣在住の方）に依頼
- 文学館に隣接する駐車場に10台
- 第2駐車場に10台（徒歩3分）  
⇒ 地元行政区と協働で管理
- バスなどの大型車両は得月院前駐車場（徒歩10分）
- 地域の求めに応じて、地元産野菜などを販売できるように、道路と正門の間に多目的なスペースも確保



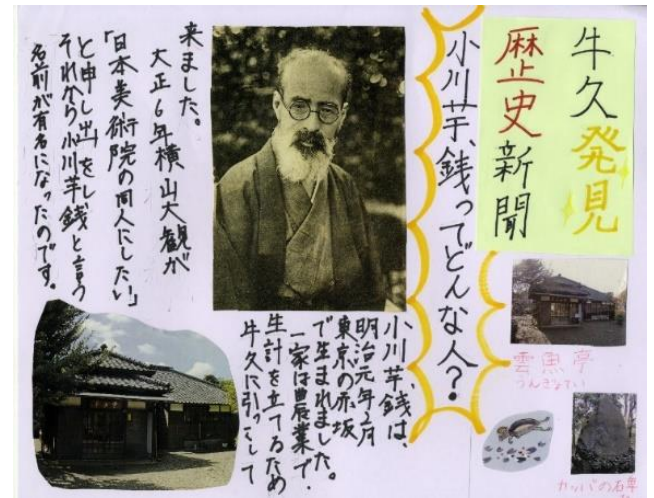


# よりよい文学館の活用のために ～地域に根付くことで「三世代に愛される文学館」を目指す～

- 行政だけでなく地域全体での「おもてなし」の意識づくりが重要。
- 行政区長や近隣の学校長を通じて、様々なアイデアをいただいたり、こちらから積極的活用についてお願いしたい。

## 例：抱樸舎（多目的展示、無料公開）

- 観光案内パンフレットをはじめ、ヘルスロード関連冊子「健康チャレンジ」や「牛久沼サイクリングコースマップ」なども館内へ配置
- 学校との連携や「土曜カッパ塾」により、子どもたちの郷土教育のために活用
- 子どもたちの作品展示や動画でお迎えする  
(例：学校行事の様子など)







ご清聴ありがとうございました